



医療法人社団公仁会  
大和成和病院

早期リハビリで質向上

ホスピタルのピカ!と光る取り組みを追う

ホスピカ!

看護師を中心に多職種で連携  
早期離床に向けたリハビリ提供

総合病院に引けを取らない手術件数を誇る大和成和病院は、院内全体で早期離床を意識する組織風土が醸成されている。こうした環境は、毎日の多職種による回診とこまめなコミュニケーションによってつくりだされている。

毎朝、多職種による回診が実施され、患者のリハビリプランなどを相談している

心血管系の専門病院として  
大学病院並みの手術を実施

医療法人社団公仁会大和成和病院は、心血管系の専門病院として神奈川県中央医療圏を中心に患者を受け入れている。ベッド数は99床だが、心臓外科手術件数は2020年実績で279件にのぼり、同じ地域の総合病院や大学病院と同レベルの件数をこなしている。

これだけの件数を維持できているのは、早期離床の取り組みが院内全体で意識されているからだ。リハビリテーション科の原田真二さんは説明する。同科には理学療法士（PT）が5人所属し、1患者に対し1人のPTの担当制となっ



リハビリテーション科の原田真二さん

ており、それぞれが10人程度の患者を担当する。リハビリテーションは患者1人当たり1日2〜3単位で実施していて、早い場合にはICUで術後1日からリハビリを提供する。具体的には、過度な安静臥床を防ぎ、適切な離床をめざすためコンディショニングとして、関節可動域訓練や体位ドレナージを行っている。

ICUでの早期離床の実施には看護師の協力が不可欠という。原田さんは、「リハビリ実施の際には安全性に配慮し、点滴などのライン類の監視や整理、リハビリ中の急変などの対応を看護師さんにお願ひしています」と、看護師との連携の重要性を話す。

また、看護師との連携はICUだけでなく一般病床でも行われている。PTだけではリハビリの実施時間が限られており、看護師が代行して呼吸法訓練や嚥下評価やベッドへの腰かけ、起立、体重計測（体重計に乗る＋直立姿勢の維持）、歩行、階段昇降をサポートすることもある。そのため、院内で

の看護研修の一環として、リハビリテーション科が車いす移乗の介助方法や嚥下の評価の指導しているほか、新人看護師が入職した際には、看護師が現場で指導するケースもあるという。

「私が入職した12年前から手術件数が多く、病床回転率を高める必要があったため、院内全体で早期離床を進める風土がありました。そのため、今では組織として成熟が進み、看護師さん同士で教え合う組織風土があると感じています」と原田さんは話す。

### こまめな「コミュニケーション」で多職種による情報共有を実施

看護師をはじめとした多職種での連携が行われるなかで、原田さんが挙げるポイントは2つある。

まず、毎朝の回診。同院では医師だけでなく、看護師やPTも毎日同行している。そうすることで、「朝食時に誤嚥してしまったので、日中に再度、嚥下評価をしてください」といった依頼ができるため、カンファレンスを逐一開催しなく

てもスムーズに連携することが可能となっている。

2つ目が、コミュニケーションである。順調にいけば約2週間退院となるが、なかには、術後も心臓に若干の不整脈があるなどで入院が1カ月以上になりそうな長期入院の患者は、リハビリの担当主治医、プライマリナーズ(担当看護師)とソーシャルワーカーの4人で、通常より一層丁寧な連携をとっている。担当看護師は通常の交代制の看護体制と異なり、1患者を1看護師が担当することで患者とのコミュニケーションが増え、容態の把握がしやすくなる。また、同院は地域の最後の砦として、難しい心血管疾患症例であっても断らずに受け入れているため、医師は手術を行っている時間が長い。そのため、限られた時間で朝ミーティングを行い、担当看護師をつけて、移動の合間にウォーキングカンファレンスを行うなど、現場でこまめにコミュニケーションをとることで多職種連携を実現している。

### 早期離床でリハビリの質向上 同時に看護師も負担軽減

早期離床を病院全体で取り組むことで生じた課題もある。早期離床の意識が強すぎると、患者の回復が第一にもかかわらず、優先順位が職員のなかで入れ替わってしまうことがあり、結果として、ICUでラインを見落としインシデントにつながるってしまう恐れもある。そのため、原田さんは「早期離床は手段であって目的ではなく、患者さんの安全が第一」ということを新人教育の時点ですっか

りを行っています」と説明する。03年にリハビリテーション科を設置し早期離床に取り組むことで、もともと1週間程度かけて自立していたのが5日間で可能になるなど、提供されるリハビリの質が大いに向上。また、トイレ歩行が自立して行えることで、看護師や看護補助者による排泄ケア等の負担が軽減している。

今後の展望として「患者さん自身が離床のメリットを理解し、自ら実践できるように術前の患者教育を充実させていきたい」と語った。

## 医療法人社団公仁会 大和成和病院

心臓・循環器の専門病院として、神奈川県東部の医療圏を中心に地域に医療を提供している。循環器内科ではカテーテル治療を中心に行っており、2020年は745件と、県内でも有数の治療実績を誇る。経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)も行っている。



住所：神奈川県大和市南林間9-8-2  
TEL：046-278-3911  
URL：<https://www.fureai-g.or.jp/seiwa/>  
病床数：99床(うち、ICU10床)  
診療科：心臓血管外科、循環器内科、外科、麻酔科  
職員数：164人(医師10人、看護師91人、PT5人)